青森県

保存版

七戸町

防災ハザードマップ

安全で安心なまちづくり

町民のみなさまへ

地域防災は家庭から

町民のみなさまには、日頃から町政運営につきましては格別のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

令和元年10月12日に日本に上陸した台風19号は、東北地方や関東地方の太平洋側を中心に日本各地で甚大な被害をもたらし、私たちに多くの教訓をもたらしました。

そこで、町では突然やってくる災害からみなさまの安全を守るため防災対策の充実に努めるとともに、洪水ハザードマップや土砂災害危険箇所、防災情報等を掲載した「七戸町防災ハザードマップ」を作成しました。

災害からの被害を最小限にするためには、日ごろからご家庭での防災対策が最も重要です。

ご家庭の目の付くところに常備され地域の災害特性についての理解を深めるとともに、ご家庭での防災対策にご活用ください。

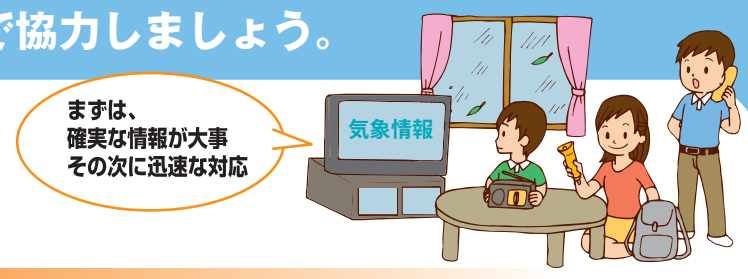
七　戸　町

索　　引

町民のみなさまへ・索引	1
風水害対策について	2
洪水ハザード情報について	3
土砂ハザード情報について	4
地震対策・火山に関する情報について	5
非常時持出品の準備&チェック	6
自らの命、家族の命を守るために!	7
指定緊急避難場所一覧1	8
指定緊急避難場所一覧2 指定避難所一覧	9
七戸町全体図	10
七戸町ハザードマップ1～9	11～28
わが家の防災対策&チェック	29
わが家の「防災・緊急情報」メモ	30
防災情報収集方法 災害用伝言ダイヤル 防災関係機関連絡先・奥付	裏表紙

風水害対策について

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。



大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

特別警報・警報・注意報の発表基準

現象の種類	発表基準		
	特別警報	警報	注意報
大雨	数十年に一度の大雨が予想され、大災害が起こるおそれが著しく高まっている場合	大雨によって重大な浸水害や土砂災害が起こるおそれがあると予想される場合 記録的短時間大雨情報 1時間に雨量100mm ※大雨警報発表時、上記基準に達した場合に発表	大雨によって浸水害や土砂災害が起こるおそれがあると予想される場合
洪水	※全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。	大雨や融雪によって、増水や氾濫により重大な洪水害が発生するおそれがあると予想される場合 ※対象となる重大な洪水害として、河川の増水・氾濫及び堤防の損傷・決壊、並びにこれらによる重大な浸水害があげられる。	大雨や融雪によって、増水により洪水害が発生するおそれがあると予想される場合 ※対象となる洪水害として、河川の増水及び堤防の損傷、並びにこれらによる浸水害があげられる。

雨の強さと降り方

（1時間雨量：mm）

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

台 風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

（風速単位：m／秒）

大きさ	風速15以上の半径
大型（大きい）	500km以上800km未満
超大型（非常に大きい）	800km以上

強さ	最大風速
強い	33以上44未満
非常に強い	44以上54未満
猛烈な	54以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域において、突発的・短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

地下道（アンダーパス）に注意！

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になります。

洪水ハザード情報について

水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 説 明

●「七戸町防災ハザードマップ」に表示している高瀬川及び赤川の浸水想定は、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したハザード情報です。
●この浸水想定区域などは、指定時点の河道の整備状況を勘案して、氾濫した場合の状況をシミュレーションにより予測したものです。
●この防災ハザードマップをご使用の際は、支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので十分注意しましょう。

●浸水ランクの目安　　想定した大雨の規模（高瀬川流域の48時間雨量397mm）

5.0m 以上の区域	2 階の屋根まで浸水する程度
3.0～5.0m 未満の区域	2 階が浸水する程度
0.5～3.0m 未満の区域	1 階が浸水する程度
0.5m 未満の区域	大人の膝までつかる程度

2 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報（気象庁）
●洪水によって災害が発生するおそれがある場合、その旨を注意して行う。

洪水警報（気象庁）
●洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、その旨を警告して行う。

水位周知を行う河川
●高瀬川及び赤川については、避難判断水位、氾濫危険水位が設定されています。これらの水位に達した場合、知事は関係市町村やマスコミを通じてお知らせします。

3 避難時の注意点

①安全で動きやすい服装を
・ヘルメットやずきん等で頭を保護する。
・裸足で避難しない。脱げにくい運動靴で避難する。
※長靴は水が溜まると動きにくくなるのではかない！

②足元に注意
・水の深さに注意する。
※歩行可能な水深は一般的に男性70cm、女性50cm。水の流れが速い場合はさらに注意が必要！
・水があふれたときは、マンホールや側溝、石などが危険。杖や長い棒で進行方向を確認しながら歩くようにしましょう。

③隣近所で声を掛けあって避難
・単独行動はしない。
・はぐれないようロープで互いの体を結んで流されないようにしましょう。

④要配慮者の安全確保
・病人や高齢者などは背負って避難する。
・子供は大人が手をつないで避難させる。その際、浮き袋を付けるようにしましょう。

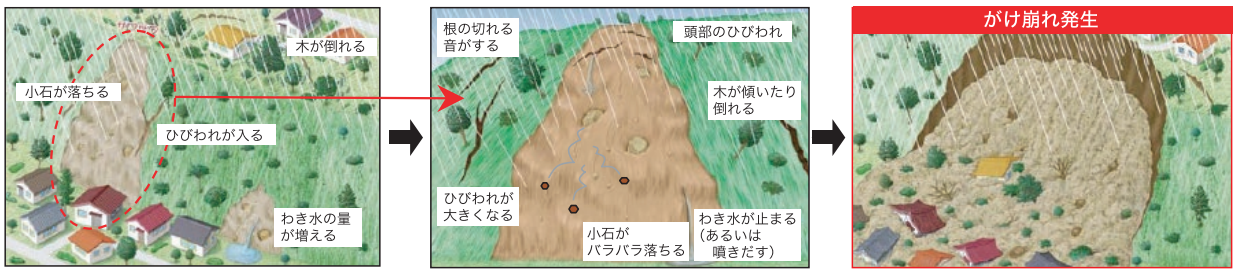
土砂ハザード情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、町役場（総務課電話 68-2111）へ連絡するとともに、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所・避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害の種類

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。

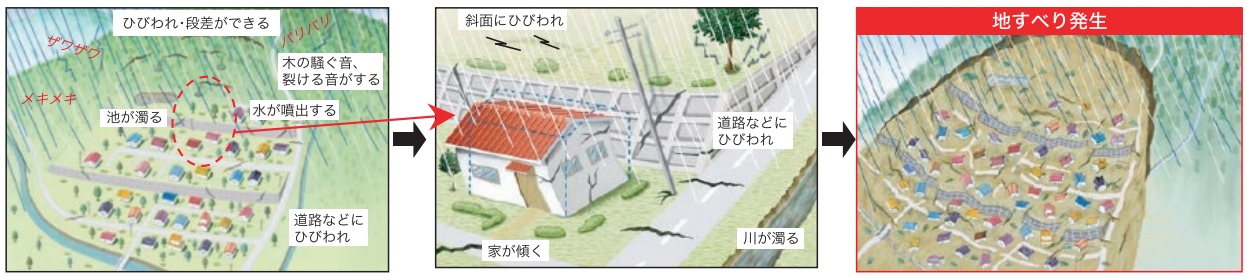


土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害警戒情報について

●土砂災害警戒情報とは

大雨による土砂災害発生が高まった時に、町が防災活動や住民等への避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行えるように支援すること、また住民の自主避難判断に役立てることを目的として、県と青森地方気象台が共同し作成・発表する情報です。

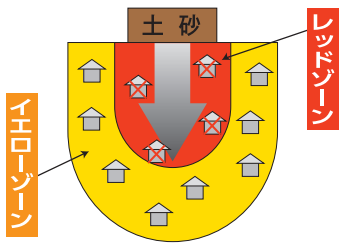
●土砂災害警戒情報の発表

県等が発表する土砂災害警戒情報を受け、町は、気象状況、前兆現象、青森県土砂災害警戒区域等マップ（県の補足情報）や土砂災害警戒判定メッシュ情報（補足情報）の危険度指数等も併せて総合的に判断し、住民への避難情報等を提供します。
また、住民への情報伝達は、防災行政無線や緊急速報メール（エリアメール）等を活用し、速やかに伝達します。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、青森県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定が行われています。

土砂災害 特別警戒区域（レッドゾーン）	建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域
土砂災害 警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害のおそれがある区域



地震対策 地震発生！そのときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1～2分

最初の大きな揺れは約1分間

◆頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する。 ◆あわてて外へ飛び出さない。 ◆無理に火を消そうとしない。

揺れがおさまったら

◆**火元を確認**　火が出たら、落ち着いて初期消火。 ◆**家族の安全を確認**　倒れた家具の下敷きになっていないかを確認。
◆**靴をはく**　家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく。
◆**避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意。**

3分

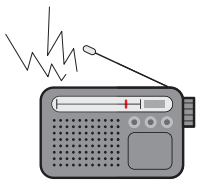
みんなの無事を確認　火災の発生を防ぐ

隣近所に声をかけよう
◆**災害弱者の安全確保　隣近所で助け合う。**
◆**行方不明者はいないか。 ◆ケガ人はいないか。**

出火防止 初期消火
◆**初期消火**　消火器を使う　バケツリレー　風呂の水はため置きをしておく。
◆**漏電・ガス漏れに注意。 ◆電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める。 ◆余震に注意。**

5分

ラジオなどで正しい情報を得る



◆**大声で知らせる。 ◆救出・救護を。 ◆防災機関、自主防災組織の情報を確認。**
◆**デマにまどわされないように。 ◆避難時に車は極力使用しない。 ◆電話は緊急連絡を優先する。**

10分 数時間 3日

協力して消火活動、救出・救護活動

◆**水、食料は蓄えているものでまかなう。　3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく。**
◆**災害・被害情報の収集。 ◆無理はやめよう。 ◆助け合いの心が大切。 ◆壊れた家に入らない。**

火山に関する情報について

噴火警戒レベル

○各レベルには、「**警戒が必要な範囲**」を踏まえて、防災機関等の行動が５段階のキーワード（「避難」、「避難準備」、「入山規制」、「火口周辺規制」、「活火山であることに留意」）として示されています。
○「警戒が必要な範囲」が居住地域まで及ぶレベル５（避難）及びレベル４（避難準備）については、**特別警報**として**「噴火警報（居住地域）」**で発表します。
○「警戒が必要な範囲」が火口周辺に限られるレベル３（入山規制）及びレベル２（火口周辺規制）については、**「噴火警報（火口周辺）」**で発表します。

種別	名　称	対象範囲	レベルとキーワード		説明		
					火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応
特別警報	**噴火警報（居住地域）** 又は **噴火警報**	居住地域 及び それより火口側	レベル５	避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法等を判断）。	
			レベル４	避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
警報	**噴火警報（火口周辺）** 又は **火口周辺警報**	火口から居住地域近くまで	レベル３	入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）。状況に応じて要配慮者の避難準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
		火口周辺	レベル２	火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。	火口周辺への立入規制等（状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断）。
予報	**噴火予報**	火口内等	レベル１	活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。		特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。

気象庁 Japan Meteorological Agency
〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
電話：03-3212-8341　FAX：03-6689-2917（耳の不自由な方向け）
気象庁ホームページ　http://www.jma.go.jp

（気象庁リーフレットより抜粋引用）

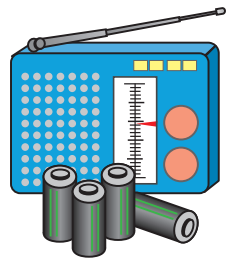
非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品（例）

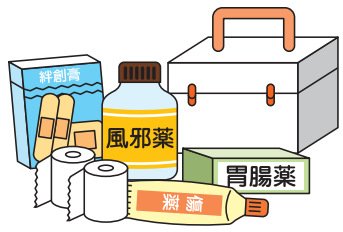
事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ



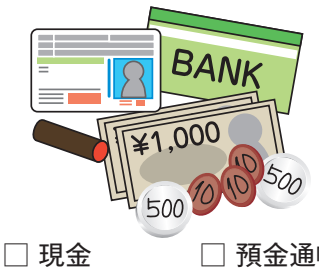
- □ ラジオ
- □ 電池（多めに用意）

救急医療品



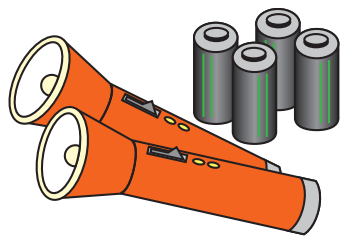
- □ 持病薬
- □ 絆創膏
- □ 傷薬
- □ 包帯
- □ 風邪薬
- □ 胃腸薬
- □ 鎮痛剤
- □ お薬手帳

貴重品



- □ 現金
- □ 預金通帳
- □ 印鑑
- □ 免許証
- □ 健康保険証
- □ 権利証書

懐中電灯



- □ 懐中電灯（出来れば一人にひとつ）
- □ 電池（多めに用意）

非常食品

火を通さないで食べられるもの、食器など

- □ カンパン
- □ 缶詰
- □ 非常用食品
- □ ミネラルウォーター
- □ 缶切り
- □ 栓抜き
- □ 紙皿
- □ 紙コップ
- □ 水筒
- □ 割箸等

その他

- □ 衣類（下着・上着など）
- □ タオル
- □ 女性用品
- □ 粉ミルク
- □ 離乳食
- □ 紙おむつ
- □ ウェットティッシュ
- □ 雨具
- □ ヘルメット
- □ ライター
- □ ラップフィルム（止血や食器にかぶせる）
- □ 防災ハザードマップ（本書）
- □ 防寒具（時季による）

非常時用備蓄品（例）

災害復旧までの数日間（最低3日）を生活できるようにチェック☑しましょう。
※最近では、7日間の非常食の備蓄を推奨しています。

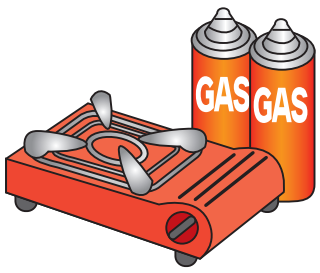
飲料水

- □ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター（1人1日3リットルを目安に）
- □ 貯水したポリタンクなど

非常食品

- □ お米（アルファ米も便利）
- □ 缶詰・レトルト食品
- □ 梅干し・調味料など
- □ ドライフーズ・チョコレート・アメ（菓子類など）

燃　料



- □ 卓上コンロ
- □ ガスボンベ
- □ 固形燃料

その他

- □ 生活用水（風呂・洗濯機などに貯水）
- □ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- □ 調理器具（なべ・やかんなど）
- □ バケツ・各種アウトドア用品など

ローリングストック法とは

- 「備蓄食料」と問われると、大部分の人が「賞味期限の長い食料を大量に買っておく」と思いがち。
- 間違いではないが、こんな失敗は？
  - ■賞味期限が知らないうちに過ぎてしまった。
  - ■賞味期限が近いので、続けて備蓄品を食べた。

その名のとおり、食べながら（ローリング）、備蓄（ストック）する方法。

1　備える
ベースとなる3日分の非常食を用意する。さらにもう2食分を非常用ケースに。

→

2　食べる
1ヶ月に1回程度、日を決めて非常食1食分を食べる

↓

3　買い足す
食べたら、1食分を買い足して補充する。

→

4　食べなれたものを常備！
最初に用意した非常食は全て消費し、買い足した非常食とそっくり入れ替わる。

↑

自らの命、家族の命を守るために！

適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

ステップ① 自宅や学校・職場には、どのような危険があるのか確認しましょう。

□防災ハザードマップを見て、河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか、土砂災害が起こりやすい場所はないか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。

□緊急避難場所・避難所（P8・P9）を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。

ステップ② 行政機関から提供される防災情報※1について確認しましょう。

□発令される避難情報等、国や都道府県から提供される防災気象情報には、以下のものがあります※2。

警戒レベル	避難行動	気象等情報		避難情報	
		洪水浸水区域	土砂災害警戒区域		
警戒レベル５	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	氾濫発生情報 等	大雨特別警報 等	災害発生情報※3	七戸町 発令
警戒レベル４ 全員避難	速やかに避難場所へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。	氾濫危険情報 等	土砂災害警戒情報 等	避難勧告※4 避難指示(緊急)	七戸町 発令
警戒レベル３ 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	氾濫警戒情報 洪水警報 等	大雨警報 等	避難準備・高齢者等避難開始	七戸町 発令
警戒レベル２	避難に備え、防災マップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	氾濫注意情報 洪水注意報 等	大雨注意報 等		気象庁 発表
警戒レベル１	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報			気象庁 発表

※１　情報の入手方法については、裏表紙をご確認ください。

※２　必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

※３　災害発生情報は、災害が発生していることを把握した場合に可能な範囲で発令するものであり、必ず発令されるものではないことに留意してください。

※４　避難指示（緊急）は、地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令されるものであり、必ず発令されるものではないことに留意してください。

指定緊急避難場所一覧1

避難が必要になったときにはまず「避難場所」へ、その後は「避難所」へと状況に応じて速やかに行動できるように心がけましょう！

令和２年４月１日現在

No	施設名	住所	地図番号	対象とする異常な現象の種類		
				洪水	土砂災害	地震
1	七戸町役場本庁舎駐車場	字森ノ上131-4	4			○
2	七戸中央公民館駐車場	字森ノ上210	4			○
3	柏葉公園	字町1	8	○		○
4	天神林児童公園	字天神林18-3	8			○
5	倉越児童公園駐車場	字倉越66-6	8			○
6	七戸町中央公園駐車場	字中野16-1	4			○
7	七戸小学校(体育館・グラウンド)	字上町野130	8			○
8	城南小学校(体育館・グラウンド)	字舘野32-58	7			○
9	七戸中学校(体育館・グラウンド)	字鶴児平191	7			○
10	天間林小学校(体育館・グラウンド)	字森ノ上180-1	4			○
11	旧天間東小学校グラウンド	字鉢森平181-26	5			○
12	旧天間舘中学校グラウンド	字道ノ上52	4			○
13	旧榎林中学校グラウンド	字塚長根17-2	5			○
14	七戸第2多目的グラウンド	字前田32-12	7			○
15	旧野々上小中学校グラウンド	字中村55-11	9			○
16	旧倉岡小学校グラウンド	字鶴児平174	1		○	○
17	旧七戸幼稚園運動場	七戸9-1	8	○		○
18	七戸運動公園駐車場	字鶴児平1-108	8			○
19	二ツ森地区コミュニティセンターグラウンド	字二ツ森家ノ後1-3	5		○	○
20	中野地区コミュニティセンターグラウンド	字手代森52-2	4		○	○
21	白石地区コミュニティセンターグラウンド	字堰代6-2	2		○	○
22	四ヶ村集会所グラウンド	字花松林ノ根35-1	5			○
23	李沢地区集会所グラウンド	字姥沢2-2	3		○	○
24	哘地区集会所グラウンド	字哘平47-20	4		○	○
25	天間林商工会グラウンド	字森ノ下48	4		○	○
26	坪地区農産物加工等施設前グラウンド	字後平112	2		○	○
27	榎林こども園グラウンド	字榎林家ノ前40	5		○	○
28	県立七戸高等学校 （第一・第二体育館・グラウンド）	字舘野47-31	8		○	○
29	県立七戸養護学校グラウンド	字蛇坂57-31	8		○	○
30	公立もみのき学園グラウンド	字蛇坂45-2	8		○	○
31	道の駅しちのへ(七彩館・物産館・情報館・駐車場)	字荒熊内67-94	4・8			○
32	七戸農村環境改善センター柏葉館	字七戸22-8	8	○	○	○
33	天間林農村環境改善センター	字森ノ下48-2	4		○	○
34	七戸町文化交流センター	字前田32	7			○
35	七戸第2体育館	字前田32-6	7			○
36	武道館	字蛇坂57-59	8			○
37	天間林中学校(体育館・グラウンド)	字森ノ上16-4	4			○
38	屋内スポーツセンター	字中野16-1	4			○
39	二ツ森地区コミュニティセンター	字二ツ森家ノ後3-2	5		○	○
40	中野地区コミュニティセンター	字手代森52-2	4		○	○
41	白石地区コミュニティセンター	字堰代6-2	2		○	○
42	道ノ上地区コミュニティセンター	字道ノ上133-2	4		○	○
43	森ノ上地区コミュニティセンター	字中野96-1	4			○
44	四ヶ村集会所	字花松林ノ根35-1	5			○
45	李沢地区集会所	字姥沢2-2	3		○	○
46	哘地区集会所	字哘平47-20	4		○	○
47	中山間活性化センター	字山舘25-1	6		○	○
48	農産物加工開発研修センター	字山舘25-1	6		○	○
49	農村交流センター駒踊り伝承館	字沼ノ沢39-7	9		○	○
50	農村交流施設絵馬の里交流館	字見町48-1	7		○	○
51	天間林宿泊交流施設かだれ天間林	字花松林ノ根35-1	5			○
52	榎林地区農産物加工等施設	字榎林家ノ前40-1	5		○	○
53	坪地区農産物加工等施設	字後平112	2		○	○

指定緊急避難場所一覧2

避難が必要になったときにはまず「避難場所」へ、その後は「避難所」へと状況に応じて速やかに行動できるように心がけましょう！

No	施設名	住所	地図番号	対象とする異常な現象の種類		
				洪水	土砂災害	地震
54	天間林老人福祉センター	字森ノ上16-4	4			○
55	天間林保健センター	字森ノ上359-5	4			○
56	総合福祉センターゆうずらんど	字立野頭139-1	8		○	○
57	ふれあいセンター	字中野16-1	4			○
58	県立七戸養護学校（体育館）	字蛇坂57-31	8		○	○
59	県営農大学校（体育館）	字大沢48-8	4			○
60	七戸町観光交流センター	字荒熊内207	4			○

指定避難所一覧

令和２年４月１日現在

NO	施設名	住所	地図番号	福祉避難所との重複
1	七戸農村環境改善センター柏葉館	字七戸22-8	8	
2	天間林農村環境改善センター	字森ノ下48-2	4	
3	七戸小学校（体育館）	字上町野130	8	
4	城南小学校（体育館）	字舘野32-58	7	
5	七戸中学校（体育館）	字鶴児平191	7	
6	天間林小学校（体育館）	字森ノ上180-1	4	
7	七戸町文化交流センター	字前田32	7	
8	七戸第2体育館	字前田32-6	7	
9	武道館	字蛇坂57-59	8	
10	天間林中学校体育館	字森ノ上16-4	4	
11	屋内スポーツセンター	字中野16-1	4	
12	二ツ森地区コミュニティセンター	字二ツ森家ノ後3-2	5	
13	中野地区コミュニティセンター	字手代森52-2	4	
14	白石地区コミュニティセンター	字堰代6-2	2	
15	道ノ上地区コミュニティセンター	字道ノ上133-2	4	
16	森ノ上地区コミュニティセンター	字中野96-1	4	
17	四ヶ村集会所	字花松林ノ根35-1	5	
18	李沢地区集会所	字姥沢2-2	3	
19	哘地区集会所	字哘平47-20	4	
20	中山間活性化センター	字山舘25-1	6	
21	農産物加工開発研修センター	字山舘25-1	6	
22	農村交流センター駒踊り伝承館	字沼ノ沢39-7	9	
23	農村交流施設絵馬の里交流館	字見町48-1	7	
24	天間林宿泊交流施設かだれ天間林	字花松林ノ根35-1	5	

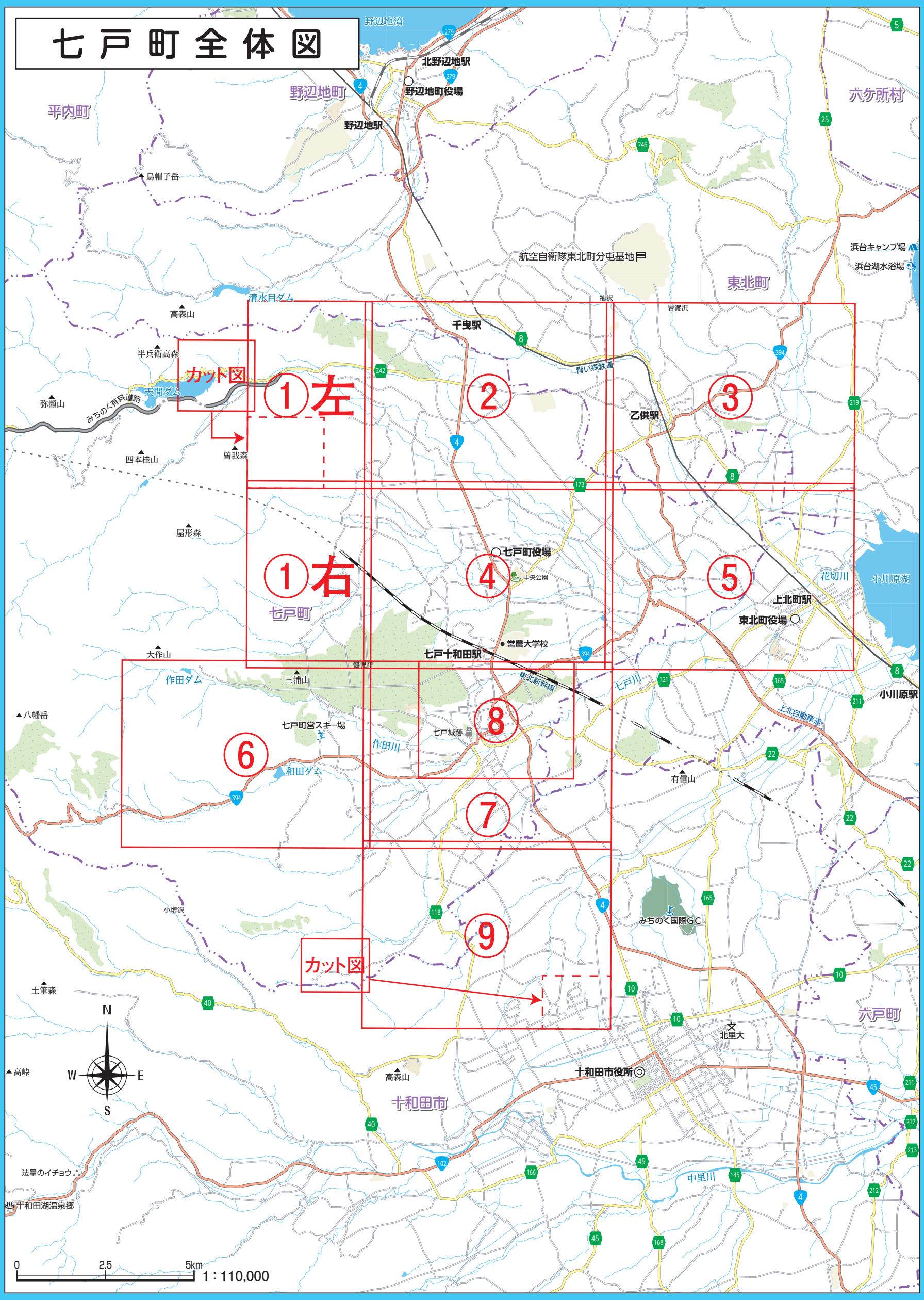
NO	施設名	住所	地図番号	福祉避難所との重複
25	榎林地区農産物加工等施設	字榎林家ノ前40-1	5	
26	坪地区農産物加工等施設	字後平112	2	
27	天間林老人福祉センター	字森ノ上16-4	4	○
28	天間林保健センター	字森ノ上359-5	4	○
29	総合福祉センターゆうずらんど	字立野頭139-1	8	○
30	ふれあいセンター	字中野16-1	4	
31	県立七戸高等学校（第一・第二体育館）	字舘野47-31	8	
32	県立七戸養護学校（体育館）	字蛇坂57-31	8	
33	県営農大学校（体育館）	字大沢48-8	4	
34	道の駅しちのへ（七彩館・物産館・情報館）	字荒熊内67-94	4・8	
35	七戸町観光交流センター	字荒熊内207	4	
36	城北児童センター	字天王67-2	8	○
37	特別養護老人ホーム美土里荘	字寒水70-17	4・8	○
38	特別養護老人ホーム天寿園	字舟場向川久保308	4	○
39	パリアティブケアセンターこだま	字道ノ上54-72	4	○
40	城南福祉プラザ	字太田野19-4	8	○
41	障がい者支援施設　一誠園	字後平597-1	2	○
42	障害者支援施設　あぜりあ苑	字清水頭71-80	9	○
43	美土里荘　デイサービスセンター梓 グループホーム櫟	字寒水70-17	4・8	
44	天間西児童センター・天間林児童センター	字森ノ上180-7	4	

指定緊急避難場所　災害発生後の一時避難場所として、地区の集会所や公共施設などを指定しています。

指定避難所　災害による家屋の倒壊などで、居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、学校・公民館・公共建築物などを指定しています。

福祉避難所　避難所での生活が困難な高齢者や障がい者、妊産婦など、配慮を必要とする方を受け入れる施設です。

七戸町全体図


野辺地湾
北野辺地駅
野辺地町役場
野辺地町
野辺地駅
平内町
六ケ所村
烏帽子岳
航空自衛隊東北町分屯基地
浜台キャンプ場
浜台湖水浴場
東北町
清水目ダム
高森山
袖沢
岩渡沢
千曳駅
半兵衛高森
カット図
天間ダム
弥瀬山
みちのく有料道路
青い森鉄道
乙供駅
四本桂山
曽我森
屋形森
七戸町役場
中央公園
花切川
小川原湖
上北町駅
東北町役場
七戸町
営農大学校
七戸十和田駅
大作山
鶴児平
作田ダム
三浦山
東北新幹線
七戸川
小川原駅
上北自動車道
八幡岳
七戸町営スキー場
七戸城跡
作田川
和田ダム
有信山
小増沢
みちのく国際GC
土筆森
北里大
六戸町
高峠
十和田市役所
高森山
十和田市
法量のイチョウ
十和田湖温泉郷
中里川
N
W
E
S
0
2.5
5km
1：110,000

七戸町ハザードマップ1

1左	2
1右	4

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域

危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

防災行政無線

指定避難所

❸ (例)○○小学校

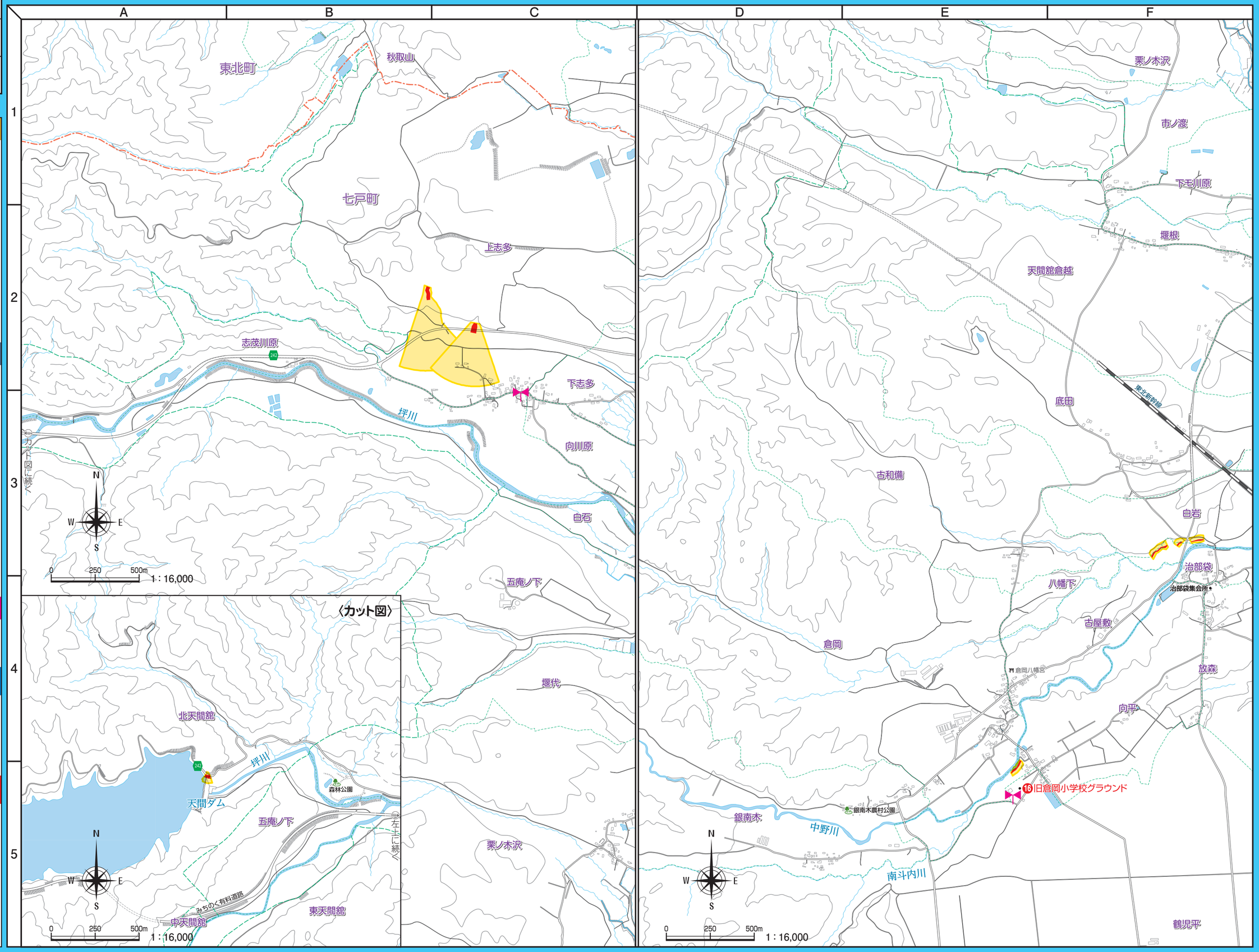
青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

❸ (例)○○公園

赤色の番号と
施設名で表示

各指定避難所、指定緊急避難場所についての詳細は、8･9頁をご覧ください



七戸町ハザードマップ2

1左	2	3
1右	4	5

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域

危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

防災行政無線

指定避難所

❸ (例)○○小学校

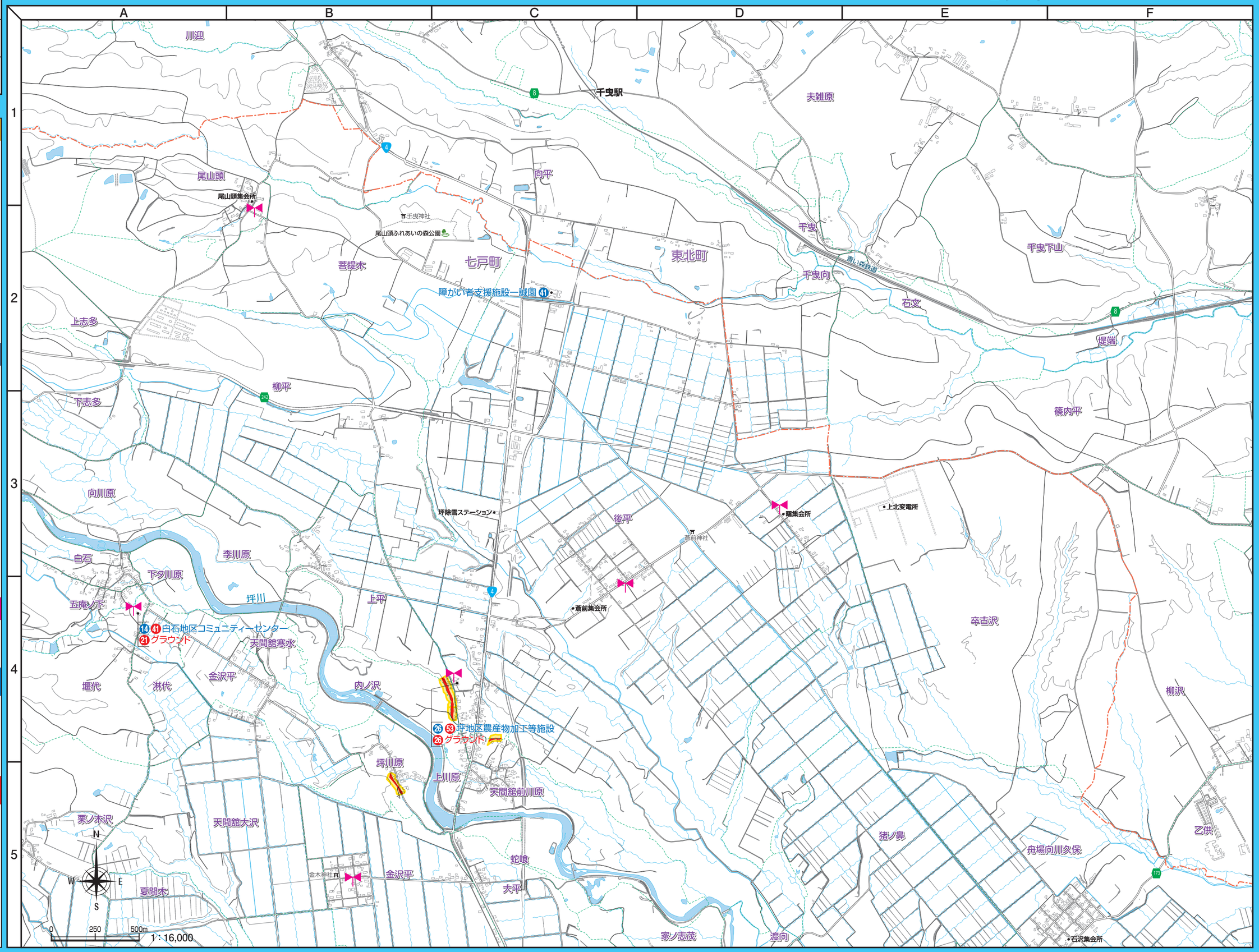
青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

❸ (例)○○公園

赤色の番号と
施設名で表示

各指定避難所、指定緊急避難場所についての詳細は、8･9頁をご覧ください



七戸町ハザードマップ3

2	3
4	5

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域

危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

防災行政無線

指定避難所

❸ (例)○○小学校

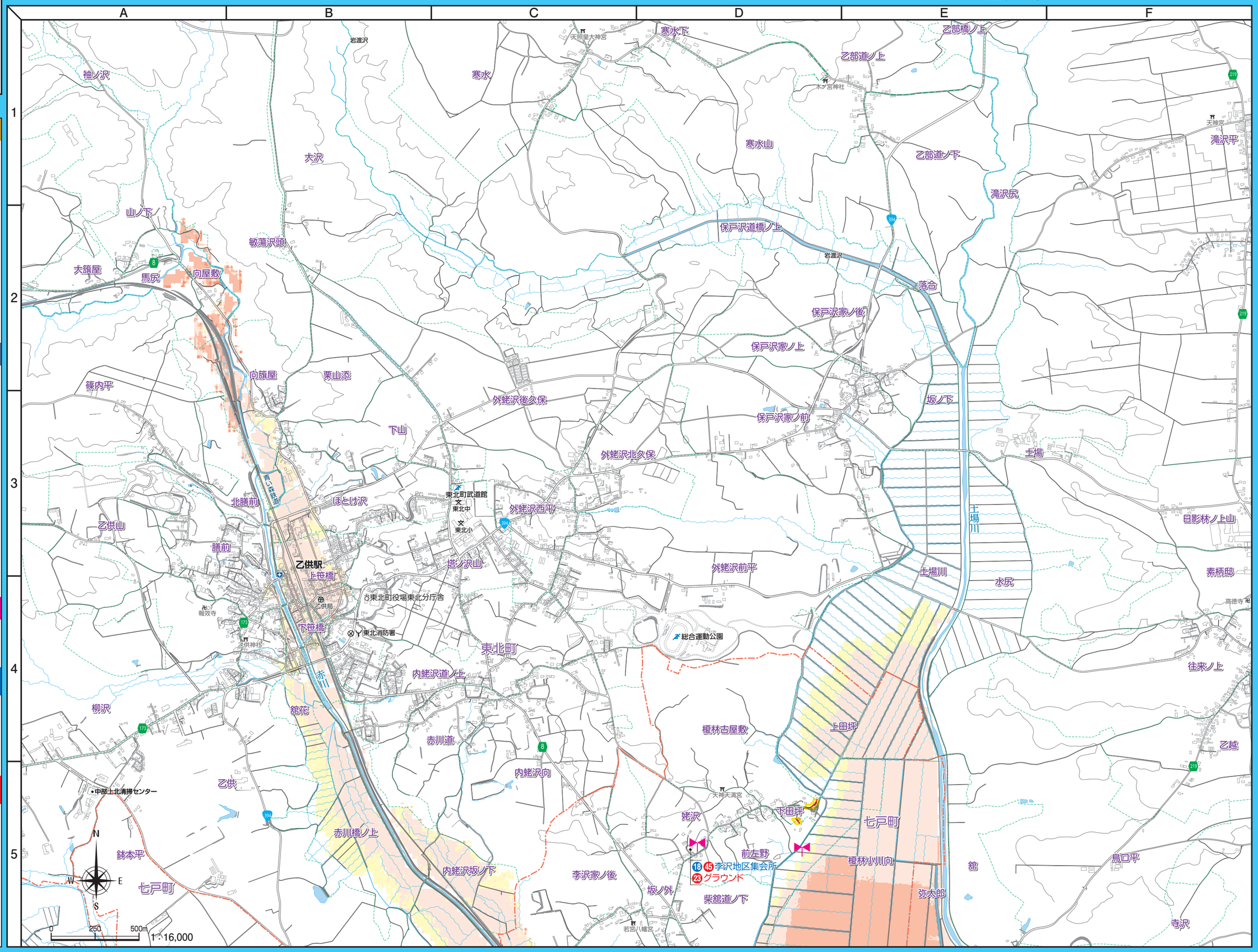
青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

❸ (例)○○公園

赤色の番号と
施設名で表示

各指定避難所、指定緊急避難場所についての詳細は、8・9頁をご覧ください



七戸町ハザードマップ4

1左	2	3
1右	4	5
6	7	

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域

危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

防災行政無線

指定避難所

❸ (例)○○小学校

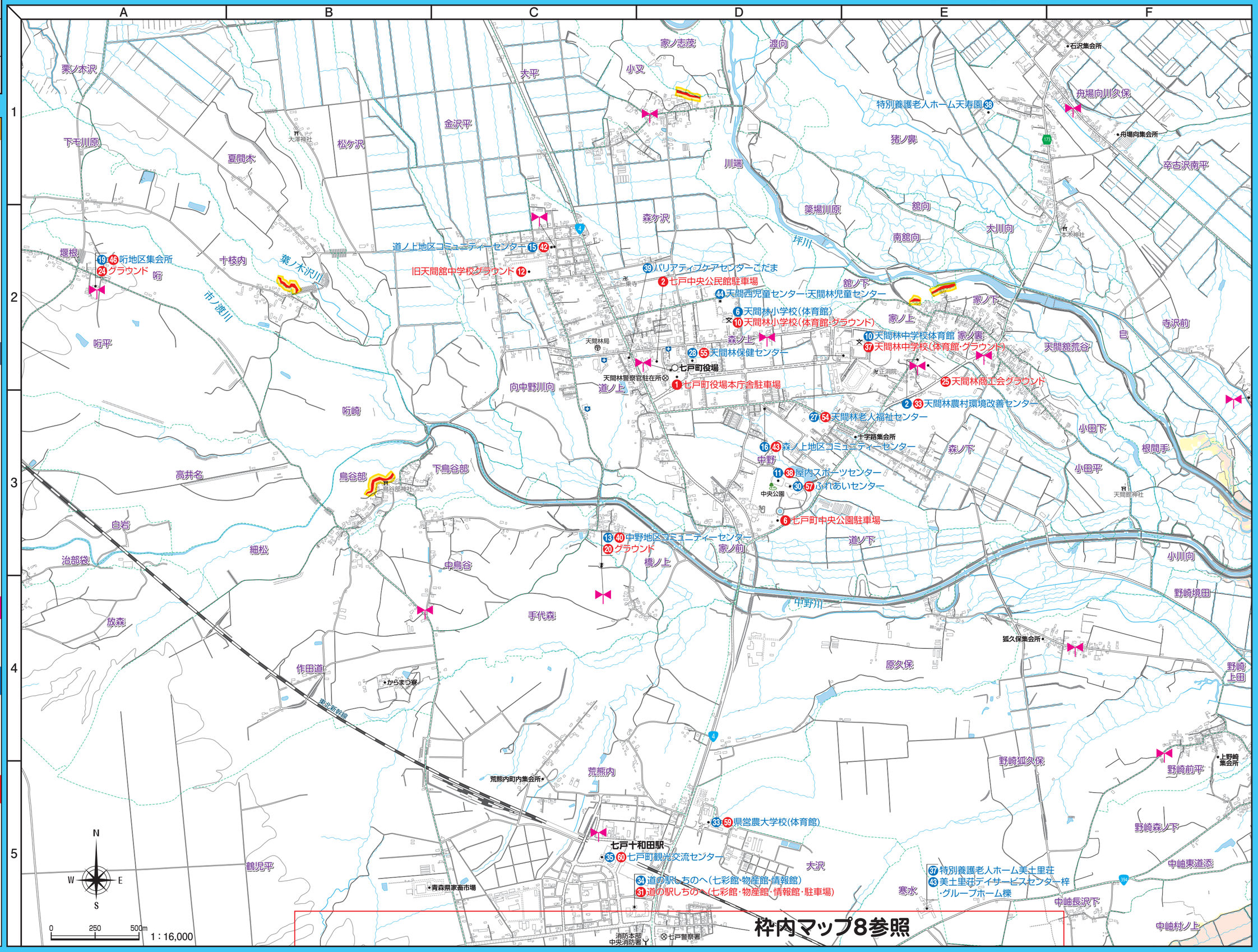
青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

❸ (例)○○公園

赤色の番号と
施設名で表示

各指定避難所、指定緊急避難場所についての詳細は、8・9頁をご覧ください



七戸町ハザードマップ5

2	3
4	5
7	

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域

危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

防災行政無線

指定避難所

❸(例)○○小学校

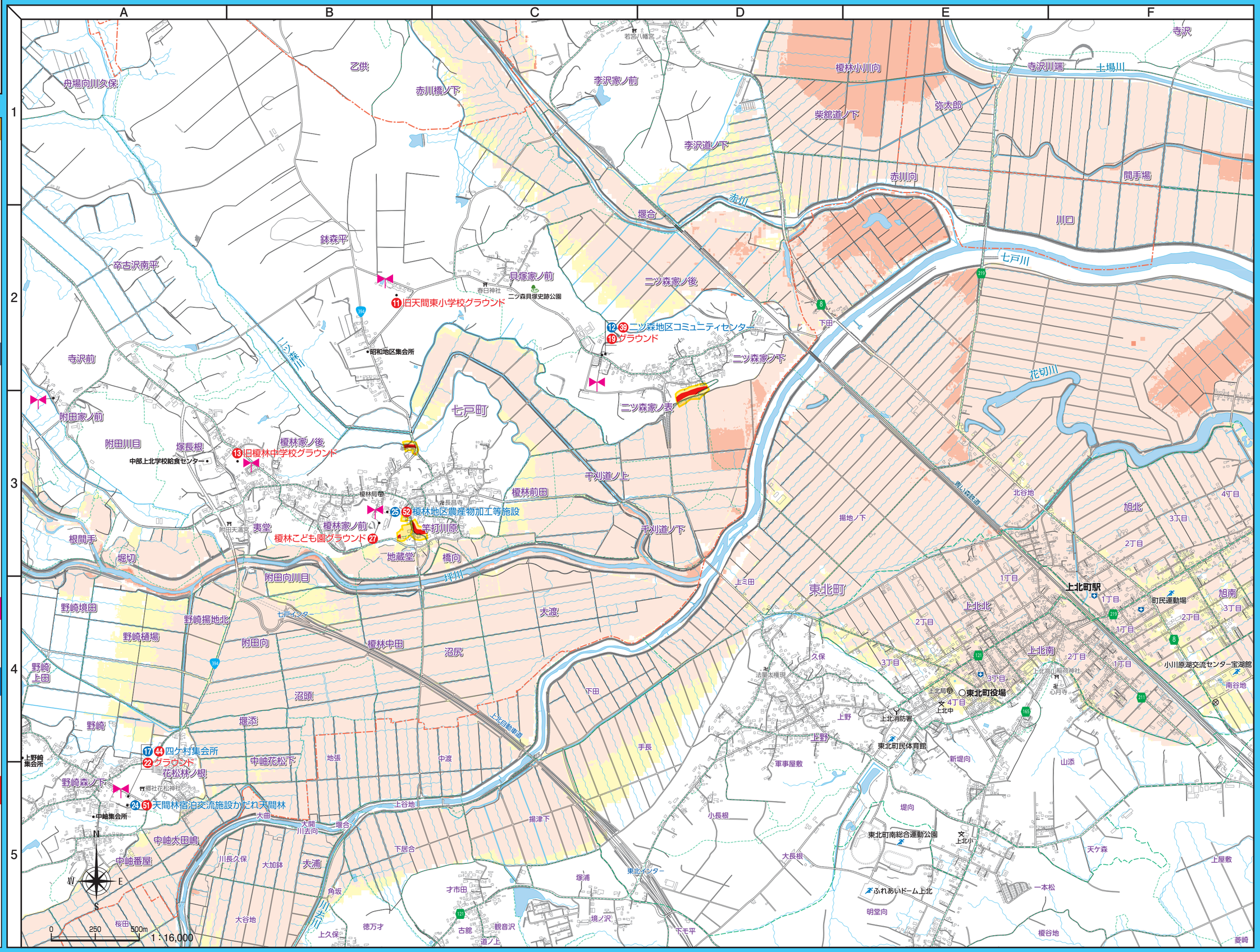
青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

❸(例)○○公園

赤色の番号と
施設名で表示

各指定避難所、指定緊急避難場所についての詳細は、8・9頁をご覧ください



七戸町ハザードマップ6

	1右	4
6		7
		9

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域

危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

防災行政無線

指定避難所

❸ (例)○○小学校

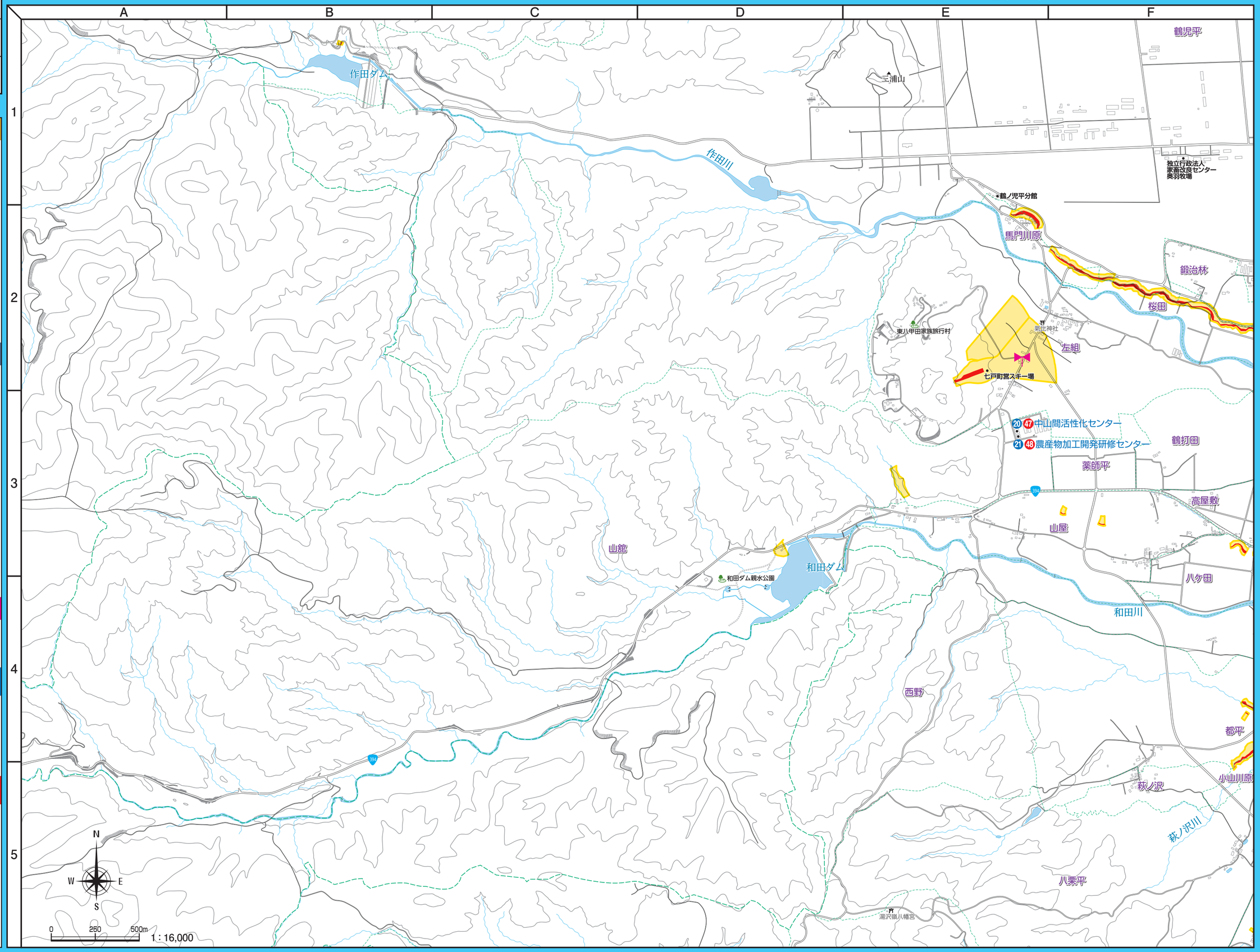
青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

❸ (例)○○公園

赤色の番号と
施設名で表示

各指定避難所、指定緊急避難場所についての詳細は、8・9頁をご覧ください



七戸町ハザードマップ7

	1右	4	5
6	7		
		9	

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域

危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

防災行政無線

指定避難所

❸ (例)○○小学校

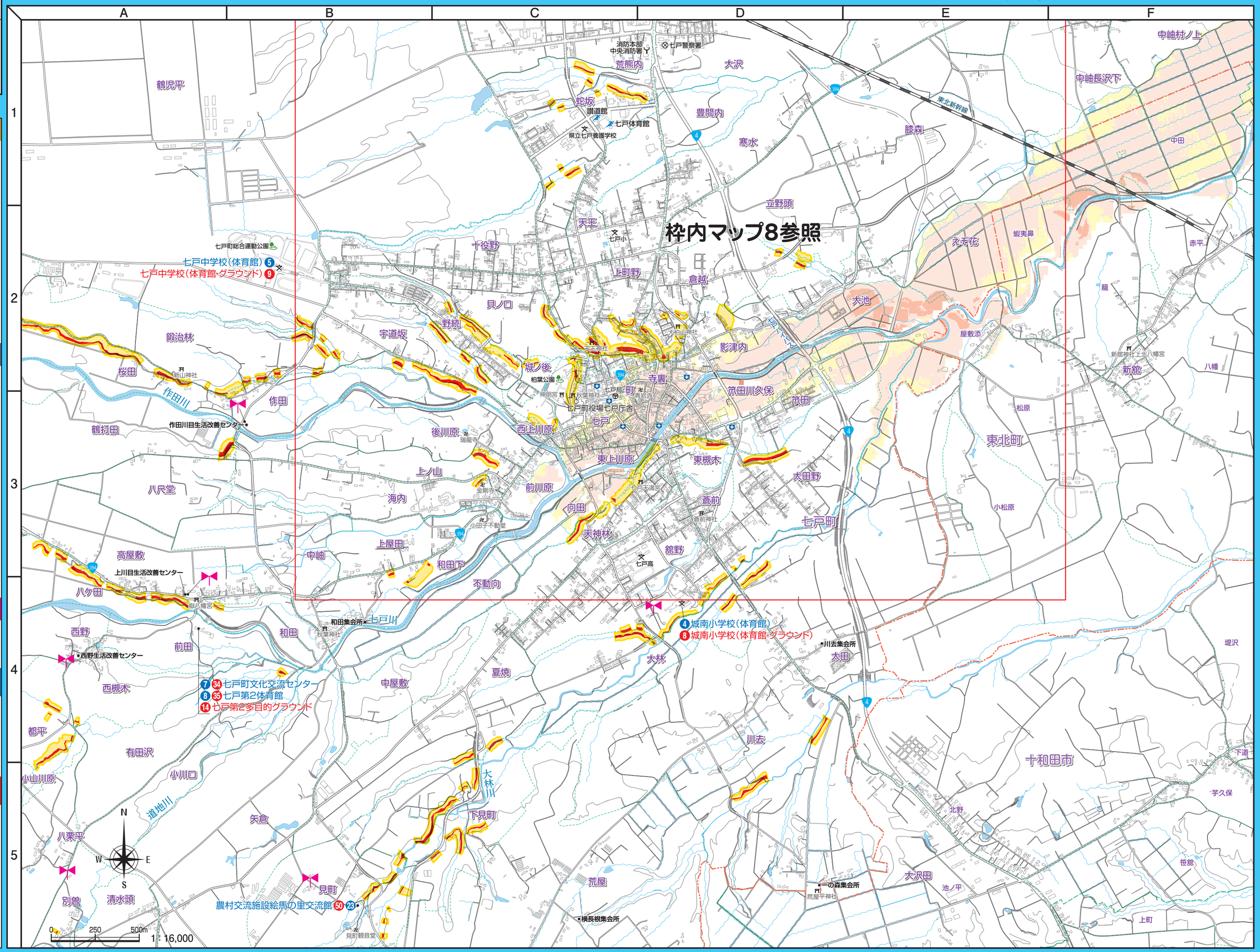
青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

❸ (例)○○公園

赤色の番号と
施設名で表示

各指定避難所、指定緊急避難場所についての詳細は、8・9頁をご覧ください



七戸町ハザードマップ8

1右	4	5
	8	
	7	

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域

危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

防災行政無線

指定避難所

❸ (例)○○小学校

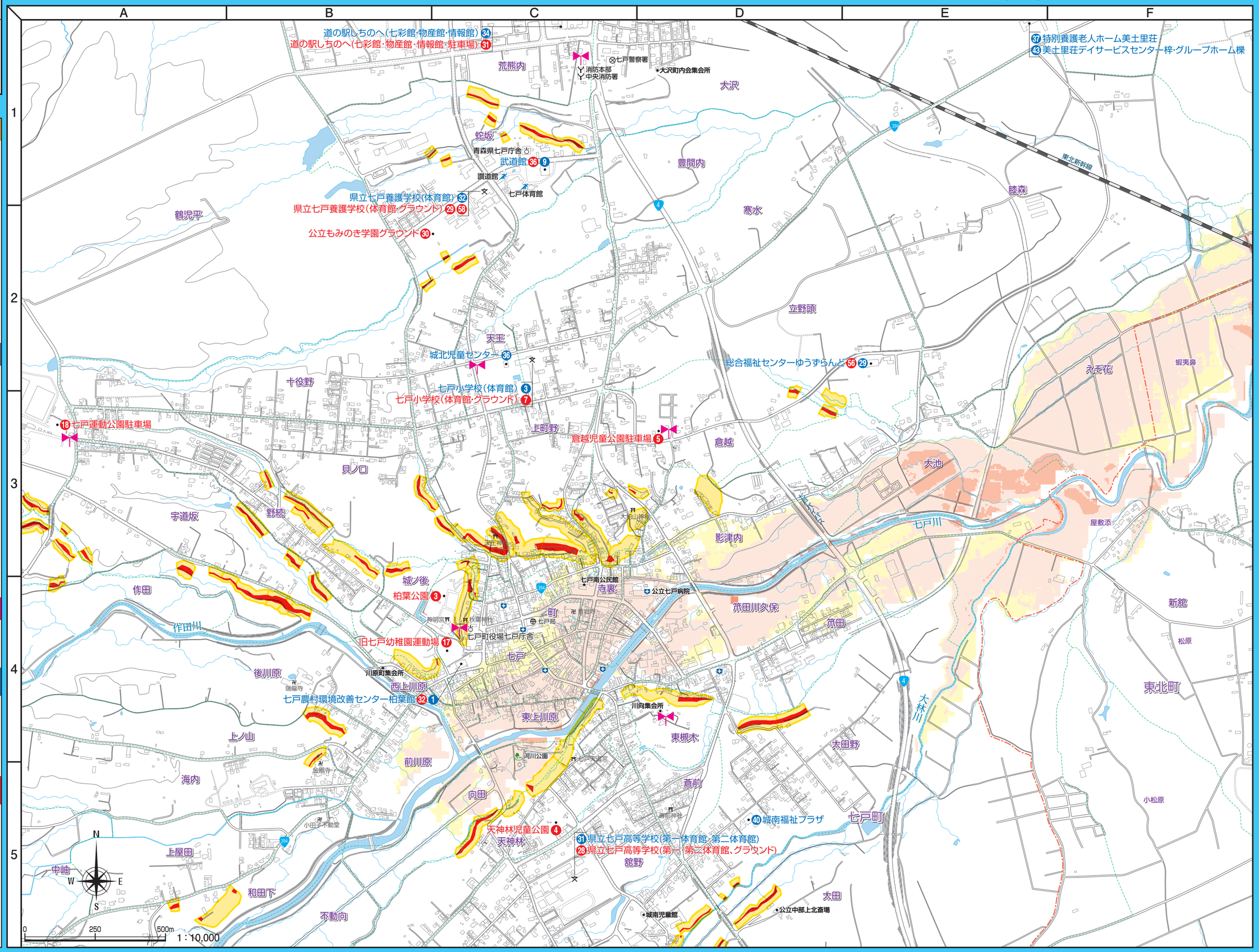
青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

❸ (例)○○公園

赤色の番号と
施設名で表示

各指定避難所、指定緊急避難場所についての詳細は、8・9頁をご覧ください



七戸町ハザードマップ9

6	7
	9

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域

土砂災害警戒区域

危険が生じる恐れのある区域

河川浸水想定凡例

浸水深0.5m未満

浸水深0.5～3.0m未満

浸水深3.0～5.0m未満

浸水深5.0～10.0m未満

防災行政無線

指定避難所

❸ (例)○○小学校

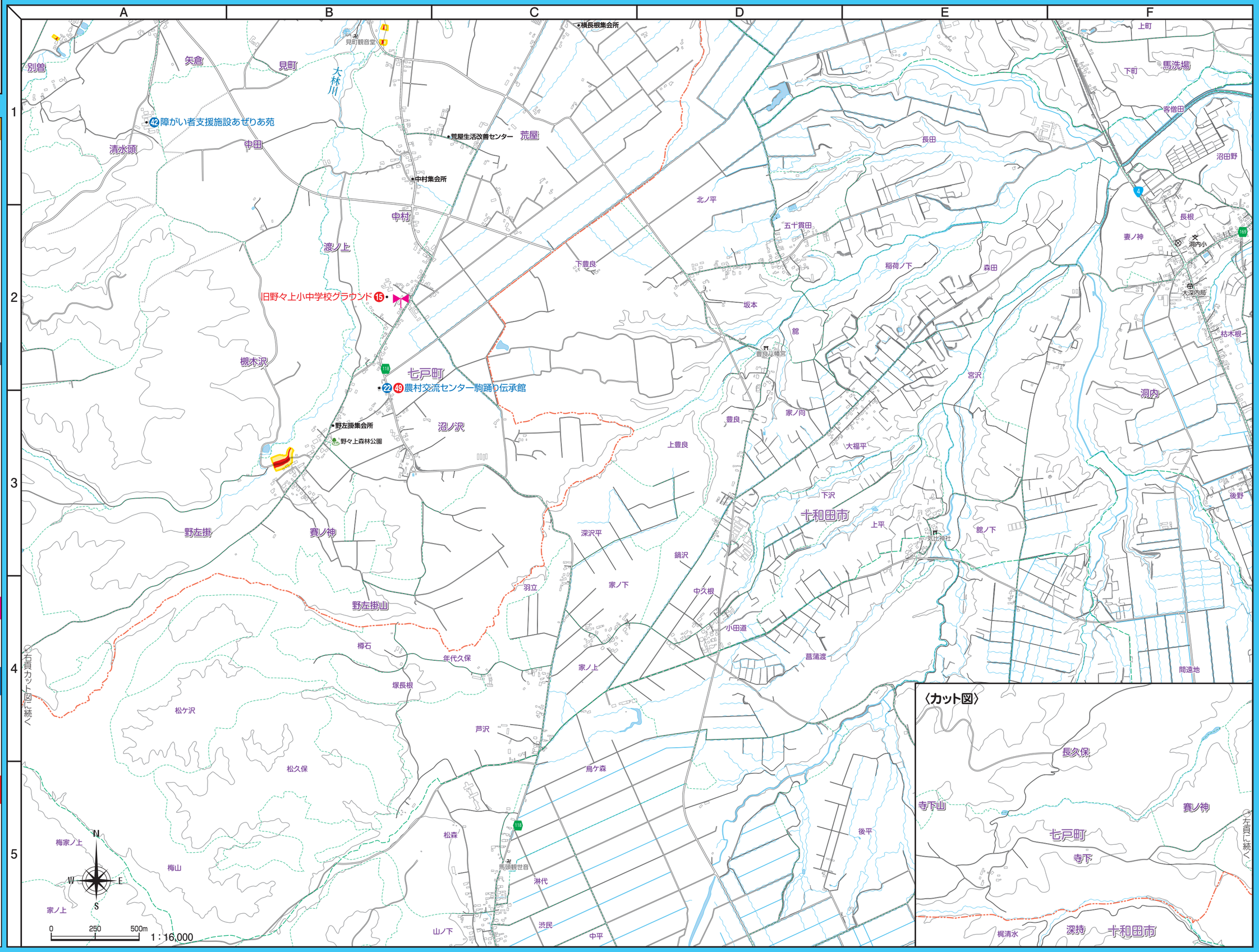
青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

❸ (例)○○公園

赤色の番号と
施設名で表示

各指定避難所、指定緊急避難場所についての詳細は、8･9頁をご覧ください



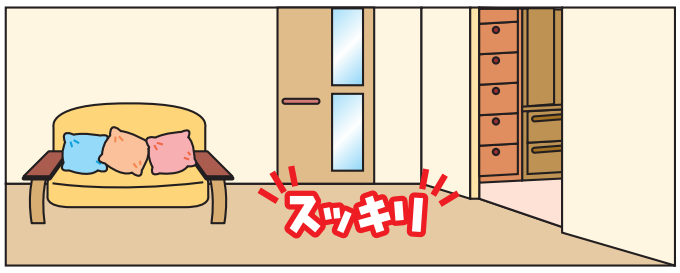
わが家の防災対策&チェック

家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

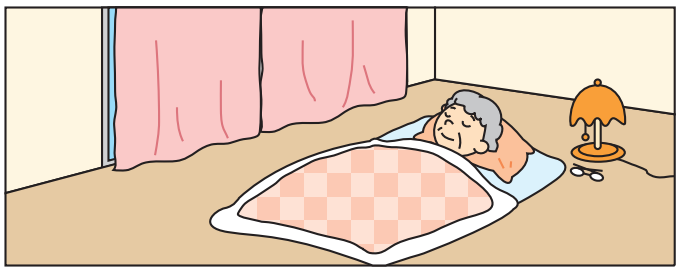
1 □ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



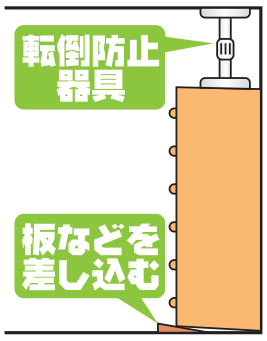
2 □ 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる危険性がある。



3 □ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



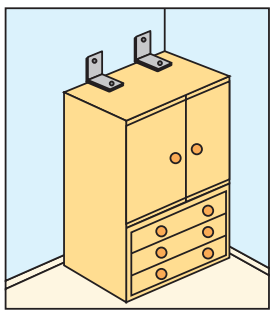
4 □ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

家具の転倒、落下を防ぐポイント

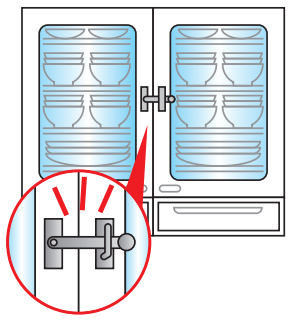
タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



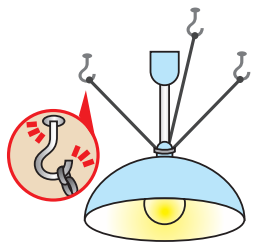
食器棚

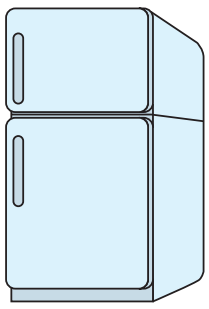
L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



照　明

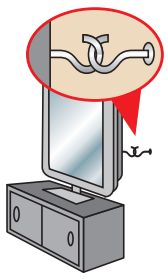
チェーンと金具を使って数箇所止める。





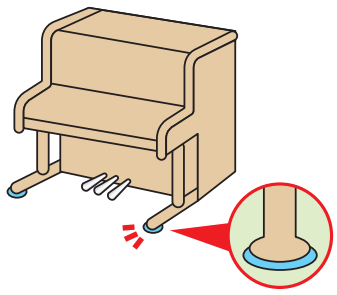
冷蔵庫

転倒防止用ベルトで固定します。



テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く（家具の上など、高い位置はさける）。

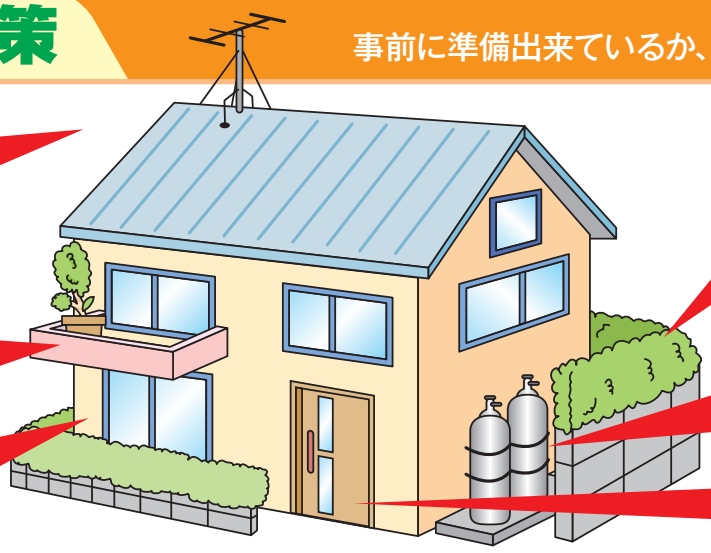


ピアノ

転倒防止専用金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。



□ 屋　根
不安定な屋根のアンテナや、屋根がわらは補強しておく。

□ ベランダ
植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

□ 窓ガラス
飛散防止フィルムをはる。

□ ブロック塀・門柱
土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

□ プロパンガス
ボンベを鎖で固定しておく。

□ 非常口の確保

わが家の「防災・緊急情報」メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたいわが家の情報です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・町に情報を提供します。

世帯主氏名		電　話	
住　所			

避難場所	
家族が離ればなれになった時の避難場所	

家族構成連絡先	氏　名	生年月日	電話（携帯・会社・学校）	住　所	メ　モ

家族の緊急情報・救急メモ	氏　名	血液型	持病・アレルギー	持病薬	かかりつけ医療機関
	【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報（介護情報・救急隊員への伝言など）をお書きください。				

緊急時連絡先	氏　名	間柄	電　話	住　所	メ　モ

防災情報収集方法

国交省「防災情報提供センター」
- http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
- 携帯電話から http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-indez.html

気 象 庁
- http://www.jma.go.jp/

青森地方気象台
- https://www.jma-net.go.jp/aomori/

総務省消防庁
- https://www.fdma.go.jp/

七戸町ホームページ（災害・緊急時）
- http://www.town.shichinohe.lg.jp/kurashi/dekigoto/saigai/

青森県河川砂防情報提供システム
- http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/

青森県土砂災害警戒情報システム
- http://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp/

青森県土砂災害警戒区域等マップ
- http://www.sabomap.jp/aomori/

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは？

地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音	171-1-被災地の方の電話番号
伝言の再生	171-2-被災地の方の電話番号
伝言内容（時間）	1伝言あたり30秒以内
伝言保存期間	災害用伝言ダイヤル(171)運用終了まで
伝言蓄積数	1電話番号当たり20伝言まで
利用可能電話	加入電話、INSネット(ダイヤル式を除く)、公衆電話、ひかり電話(ダイヤル式を除く)

防災関係機関連絡先

七戸町役場	0176-68-2111(代)
七戸町役場七戸庁舎	0176-62-2111(代)
消防本部	0176-62-3142
中央消防署	0176-62-3141
七戸警察署	0176-62-3101(代)
青森河川国道事務所	017-734-4521(代)
十和田国道維持出張所	0176-23-7138
上十三保健所	0176-23-4261
上北地域県民局地域整備部	0176-23-4311
東北電力（停電・緊急時）	0120-175-366

七戸町防災ハザードマップ　令和2年3月

発　行　七戸町　総務課
七戸町字森ノ上131-4
TEL　0176-68-2111
FAX　0176-68-2804

制作・著作　株式会社ゼンリン　青森営業所
青森市長嶋2丁目25番1号 太陽生命青森ビル5F
TEL　017-777-6261
FAX　017-735-5758

無断で複写、転載することはご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

「この地図は、七戸町長の承認を得て、同町作成の1/2,500・1/10,000の都市計画図を使用したものです。平成31年3月20日　七建第593号」
「この成果品は、青森県が作成した測量成果を青森県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号平成31年1月9日付け青林第905号)
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万５千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号　平29情使、第444-A305号)」

本文中の地図は、弊社2019年9月発行の七戸町住宅地図のデータをもとに作成しています。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報も加えて制作しています。

作成には細心の注意をはらい、編集作業を行っていますが、データ量は膨大であり、日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また、目標物は見やすさを優先し、正式名称などを一部割愛して掲載しています。何卒ご了承いただきますようお願い申し上げます。